

日本の未来を担う
経営者たち

I will take on the future of Japan.



マミー・インターナショナル®

株式会社マミー・インターナショナル
代表取締役

伊藤 勝康
Ito Katsuyasu

英会話学校の運営からスタートし、現在では保育園、学童、児童館など幅広く運営。御年70歳にして、現役サーファーでもある。サーフィンで養われた瞬時の判断力や忍耐はビジネスにも役立っていると話す。日頃から社員とのコミュニケーションを大切にしており、オフィス内は活気にあふれている。



マミー・インターナショナルHD
マミー・インターナショナル®

こどもも保護者も社員へも 愛に溢れる“第二の家庭”

社員は家族。そう公言するのは、株式会社マミー・インターナショナル代表の伊藤勝康氏。

社員の働く環境を常に改善しながら、こだわりの保育を実施し、地域からも保護者からも愛され続けてきた。

社名に込められた創設当時から変わらぬ思いとは…。

——本日はようしくお願ひいたします。

今は保育園や学童クラブ、放課後子ども教室、児童館、福祉会館、社会教育施設の運営をしているのですが、私たちの出発は英会話学校からでした。何でも自分の目で見てみたい。そんな気持ちから私は高校時代に、恩師の伝手を頼つてアメリカのオハイオ州に留学をしたのです。現地では、牧羊を営む家族のもとにボーミステイし、牧童として必死に働きながら、聴講生として高校に通いました。日本に戻ってきてからは、大学に進学。卒業後は語学力を活かして、商社で数年勤めました。その後、1979年に横浜市内で英会話学校を始めたのです。当時、まだ欧米出身の講師の授業が受けられる環境がほとんどなかったこともあり、ありがたいことに一気に10教室まで展開することができました。とはいえ、英会話学校の授業で教室が使われるのは毎日15時頃から。この空いた時間を活用して、何かできることはないかと考え始めたわけです。